



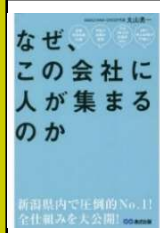
# 社員から提出された感想文(一部抜粋)を紹介させていただきます。



自分の立場、相手の状況をよく観察して意識することで相手のパフォーマンスを上げることが出来れば「お客様に喜んでもらえる仕事」という共通の課題をチームとして進めていくことができ、より一層いいチームになれるのではないかと思います。「問いかけ」の質を高めていけるよう、もっと広い視野をもって仕事をしていこうと思いました。(関根)



みんなが職場で力を発揮できるか仕事しやすいかを考えることが大切です。私がこれからしなくてはいけないことは、意見が言いやすい雰囲気をつくりどんな意見でも建設的に取り入れること。目標に向け「今から何ができるか」という解決策に力を注ぐ。未来のアレックスの為にいいチームをつくっていきます。(太田)



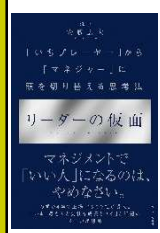
伸びている会社は、みんな自身に満ち溢れていて、発想も未来志向になり、雰囲気も明るい楽しい。雰囲気の良さが人を惹きつけて、さらに事業を伸ばすエンジンになります。人が集まるから事業が伸びて、事業が伸びるから雰囲気が良くなって人が集まるという好循環になる。今でも飲みニケーションは古くないと思っていて、若い社員は人とつながる「場」を求めているそうです。(稲田)



頼まれたことをやるだけではなく、いままで避けていた苦手なものであっても必要性を感じたときはこちらから提案することを意識して活動しています。良い時は成功期、悪い時は成長期(勉強期)とプラスに捉え仕事に励んでいこうと思います。20代のうちに成長期の時間が短くなるようにしたいです。(斎藤)



70代は人生の下り坂に差し掛かった時期。一気に滑り台のようにおりにていくか、鼻歌でも歌いながら気長におりにていくか? 80代、90代を迎える大事な時間である70代をいかに過ごすべきか? という内容ですが、その年代の家族や世代の方々を理解するのに良い本だと思います。理解をすることで、他人(ヒト)に優しくなれますよ。(青木)



一人一人が利益を生み出す「借金」を繰り返す社員しかいなければ会社はなくなります。利益を生み出す仕組みや行動を「ルール」や「目標」によって設定して同じ方向に向かわせることが「マネージャー」の仕事と感じました。今後、上記のことを活かして「マネージャー」への一步を踏み出せればと考えています。(飯原)



どんなところに置かれても花を咲かせる心を持ち続けよう。東日本大震災、出口の見えないコロナ禍、新たな感染症への恐怖。境遇や、その時代を選ぶことは出来ないが、生き方を選ぶことは出る。「現在」というかけがえのない時間を精一杯努力し頑張りたいと思います。(熊倉)



要点を絞ったり、結論から説明した方がよい等、分かっているけれど実践できていなかったりすることもあり、意識していこうと思いました。また、相手の理解度(専門用語が分かる等)に合わせてあげる等相手に寄り添うことも大切だということも改めて認識しました。(加藤)

